

# 取扱説明書



システムバスルーム 集合住宅向け ユニッテリア  
M・F・NJ・NW・B シリーズ YTA シリーズ

## 安全上のご注意

### 必ずお守りください

この安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくもので、安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

### 警告

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」を示しています。

### 注意

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」を示しています。

◎お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	意	味
	このような図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。	
	このような図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。	

## 警告

- 風呂フタに乗ったり、体重をかけたたりしない
  - おぼれたり、けがやけとをするおそれがあります。

- お酒を飲んで入浴しない
  - 足をすべらせころぶおそれがあります。

- 幼児や身体の不自由な方だけ入浴させない
  - おぼれたり、けがやけとをするおそれがあります。

- 排水栓は確実に閉める
  - 空だとなり、火災の原因になるおそれがあります。

## 注意

- 壁パネルに無理な力を加えたり、硬いものをぶついたり、こすったりしない
  - 破損してけがをしたり、照明器具の破損や、周囲のコーキングが切れ、水漏れの原因になります

- ドアのハンドルや引き手にぶら下がったり、無理な力をかけない
  - ドアが外れ、けがをするおそれがあります。

- 排水口にシンナーなどの溶剤を流さない
  - 排水部分が破損して、水漏れの原因になることがあります。

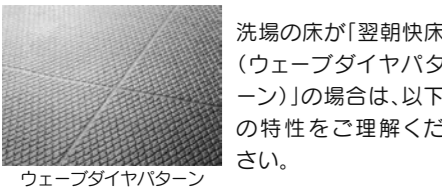
- 排水栓をつないでいるくさりの浴槽取り付け部を無理にまわさない
  - 取り付け部がゆるむと水漏れのおそれがあります。

- 床が石けんや湯あかで濡れているときは、洗い流す
  - ころんでけがをするおそれがあります。

## 使用方法と使用上のご注意

### 「翌朝快床」について

(ユニッテリア・YTAシリーズのみ)



洗場の床が「翌朝快床(ウェーブダイヤパターン)」の場合は、以下の特性をご理解ください。

- 日常のご使用では
  - 風呂いすや洗面器が床に置いてあると、その設置部分は排水の障害となつて水が残り、他の部分に比べて乾きが遅くなります。

- 初めてご使用になる場合
  - 床表面に製造時の油分が付着して「翌朝快床」が持つ本来の性能を発揮できない場合があります。この油分は入浴しているとき次第に洗い流されますが、初めてご使用になるときに浴室用の中性洗剤で床を洗っていただくこと、より早く「翌朝快床」の性能が発揮されます。

### 目地について

(防水性能をたいたせつな目地材)

### 注意

- 床・壁・天井の継目部分の目地材(コーキング)を傷ついたり、切ったりしないでください。水漏れのおそれがあります。
- 目地材は水漏れを防ぐために大変重要なものです。傷めたり、取りはずしたりしないでください。
- 入浴後、目地にかびなどが生えないよう換気してください。

### 照明について

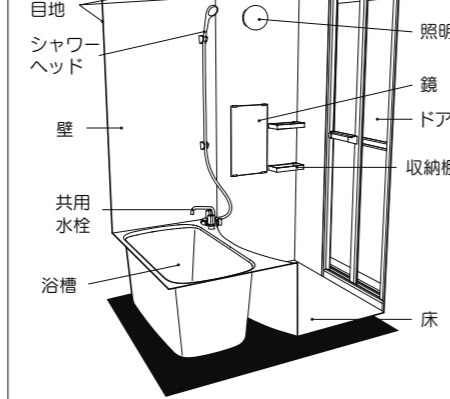
- 過熱して、火災の原因になるおそれがあります。照明器具にタオルなどをかけない。

- お願い
  - 照明には直接水やお湯をかけないでください。故障の原因となります。

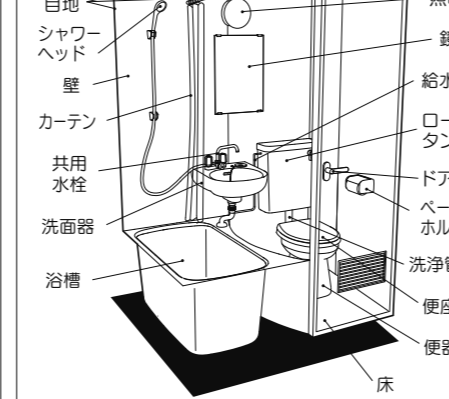
## 各部の名称

●現品は図と異なる場合がありますので、ご了承ください。

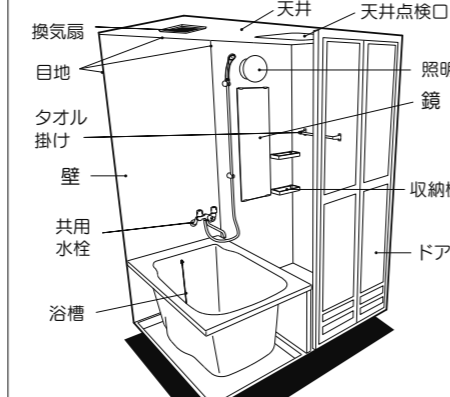
### セミハーフパネルタイプ



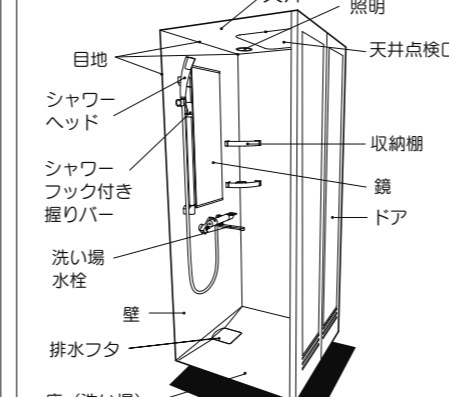
### セミハーフパネルタイプ



### フルパネルタイプ



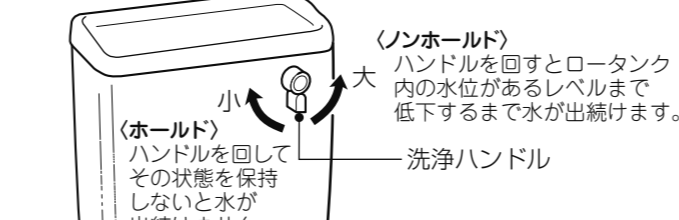
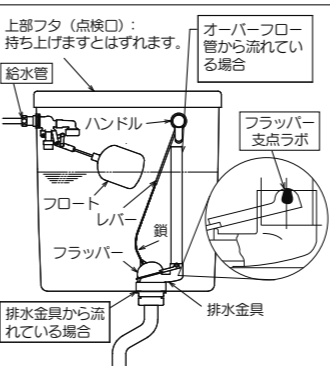
### フルパネルタイプ



### ロータンクについて

(便器後側に設置してある場合)

- ロータンクは便器の汚物を流すために必要な水をためておく物です。ハンドルを引くと水が流れ自動的に水が供給されます。
- ロータンクの中へ異物(ピン、缶等)を入れないでください。流れが悪くなります。



### 水が止まらない場合

- オーバーフロー管から流れている場合はタンク内の水が所定の水量より異常に多い場合です。この場合にはフロート(白い浮玉)がタンクの壁面に当たって作動していないため、フロートを壁面より離してください。(水が供給されていない場合も同じです。)
- 排水金具から流れている場合はフラッパーが外れた場合とフラッパーと排水金具との間にゴミ等がからまってフラッパーと金具が密着していない場合です。フラッパーの支点ダボを差込むかフラッパーを上げてこみを取り除いてください。

### 水がでない場合

- ハンドルを引いても水が出ない場合はレバーと鎖が外れている場合です。上部フタを外しフラッパーの所で2環位たるむように差込んでください。

### その他使用上の注意

#### コンセントは水嫌い

- コンセントに水をかけないでください。漏電して使用できなくなります。
- ぬれた手でさわらないでください。感電の恐れがあります。

#### シャワーは浴槽内で

- シャワーは浴槽内でカーテンをしめてご使用ください。カーテンをあけてシャワーを使用するとカウンター、便器などが濡れて使いづらくなったり、室内へお湯が飛散することがあります。

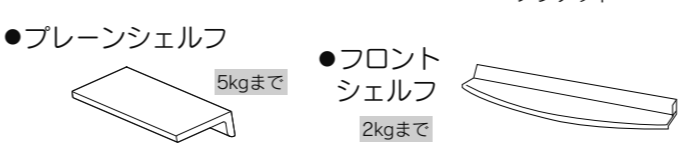
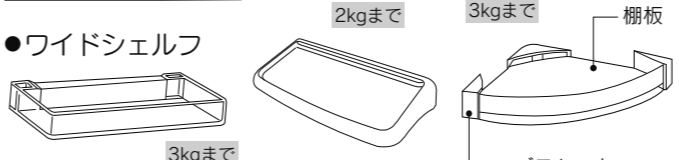
#### 便座を乱暴に扱わないで

- 便座、フタの開閉は乱暴に行わないでください。
- 踏台として使用しないでください。
- 便座、フタには塗料、殺虫剤、マニキュア、シンナーなどを付着させないでください。
- 便座、フタの軸部に油などをささないでください。

#### 便器に流してはいけないもの

- 新聞紙、紙おむつ、生理用ナプキンなど、詰まりやすいものは流さないでください。
- 鉛筆、くし、歯ブラシなどを便器の中へ落としますと内部でつまります。誤って落としたときは水を流す前に必ず拾い出してください。
- 水に溶け難いトイレマットペーパーは、使用しないでください。

### 収納棚



- お願い
  - 各棚(1段ごと)に で表示した以上のものを置かないでください。変形や破損の原因になります。
  - 棚にぶら下がったり、強く引っばらないでください。破損したり、転倒など、けがをするおそれがあります。
  - 下部点検口フタにのらないでください。破損したり、転倒など、けがをするおそれがあります。
  - さびやすいものを棚に放置しないでください。もらいたびにより、さびがとれなくなるおそれがあります。
  - 棚にフックなどをかけないでください。変形や破損の原因になります。

### 換気について

#### 換気は3時間を目安に

不十分な換気はかびの原因になります。入浴後、換気扇は3時間を目安に運転してください。

#### 入浴中の換気は避けて

換気扇内で発生した結露水が落ちてきたり、ドアのガラリから脱衣室の空気が流れ込み寒く感じる場合がありますので、入浴中の換気は避けてください。

#### 風呂フタはこまめに置いて

浴槽にお湯がある時は必ず風呂フタをして換気してください。入浴以外はこのままに風呂フタを使用しましょう。

#### 入浴後は水をかけて

最後に入浴した人が壁や床に冷水のシャワーをかけておく、こまめに蒸気がたかずに、換気効率が上がります。

24時間換気に対応していない換気扇で24時間の換気運転をすると、換気扇のご使用年数が極端に短くなります。専用の取扱説明書もあわせてお読みください。入浴後は、入浴後に必ずスイッチを入れて24時間換気を行ってください。

床面、天井および浴槽の表面に付いた水滴は、換気扇をまわしても、湿度の高い雨の日や寒い冬の日等では取れにくい場合がありますのでご了承ください。特に床の凹凸パターン等に一部水滴が残りますのでご了承ください。

**換気**

Q. 換気していればかびは発生しませんか。

A. かびは温度、水分、栄養源の3点が揃うと繁殖するので、換気だけではかびの発生を抑えることはできません。かびの栄養源になるバスルームの汚れを取り除いてから、湿気を防ぐための換気をするのが、かびの発生を抑えるポイントになります。かびが生えない清潔なバスルームを保つには、こまめなお手入れと十分な換気を心がけましょう。

【かびが発生する3大要因】

- 栄養源
- 湿度
- 水分

### 排水について

洗い場の排水口には、臭気止め機構(トラップ)がついておりますので次のことにご注意ください。

#### 目皿、ヘアキャッチャーを外したまま使用しない

- 目皿を取りはずした状態のご使用はお避けください。毛髪やごみなどの詰まりの原因となります。

#### トラップ封水切れの注意

- 長時間留守にする場合、蒸発等により封水切れで悪臭が発生する場合がありますのでご注意ください。万一悪臭が発生した場合は、換気をし、排水トラップに水を流してください。

### 表面保護について

衛生的で、美しいバスルームを保つために、次のことにご注意ください。

#### 床・浴槽・カウンターを傷つけないために

- かたいものでこすったり、重くてかたいものを床に落とさないでください。
- タバコなどの火気を近づけないでください。傷つき、ヒビ割れの原因となります。
- ヘアピン・カミソリの刃などを床に置くとさびが付着してとれなくなることがあります。

#### 壁面を変色させないために

- 壁面に吸盤付の石けん受けなどを取付けますと、吸盤が壁面を変色させることがあります。吸盤が直接壁面に触れないように注意してください。

### ドアについて

#### 注意

- ドアの急激な開閉はしないでください。(ドアは静かに開閉してください。) 手や足をはさまれて、けがをするおそれがあります。

### ドアロックについて

(扉戸、レバーハンドルに関して)

#### 浴室に入り錠をかける場合

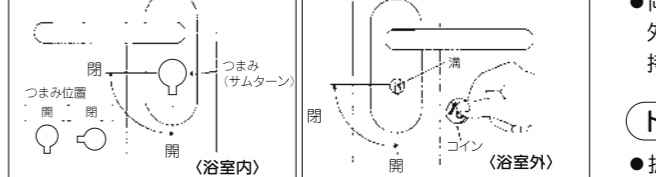
- レバーハンドルの下のつまみ(サムターン)を90°回してください。

#### 錠をかけた浴室からでる場合

- レバーハンドルの下のつまみ(サムターン)をもとにもどしてください。レバーハンドルを下げますと、ロックは解除されます。

#### 錠をかけてある浴室に入る場合

- つまみの溝にコイン等を押当てて回しますと、ロックが解除されドアを開くことができます。



### 浴槽と風呂フタについて

#### 浴槽

- 浴槽に無理な力をかけないでください。ヒビが入って、水が漏れたり、けがをするおそれがあります。

- 浴槽の上に立たないでください。足をすべらせたり、浴槽が傾いてこぼれ、けがをするおそれがあります。

- 入浴前に湯温を確認してください。やけどをするおそれがあります。

- 浴槽は定期的に掃除してください。底面についているマイクロストッパーは、汚れがたまるすとすべりやすくなり、けがをするおそれがあります。

#### 風呂フタ

- 浴槽にお湯を入れて放置する場合は、必ず浴槽にフタをしておいてください。

#### 警告

- 風呂フタに乗ったり、体重をかけたたりしないでください。おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。

#### 注意

- 風呂フタの上に手をついたり、物を置かないでください。変形や割れなど、風呂フタが破損や凹みたりします。

- 風呂フタは必ず浴槽にあったものを使用してください。風呂フタが外れたりして、けがややけどをするおそれがあります。風呂フタをご購入の際は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

### タオル掛け・ランドリーパイプなどについて

お願い

- ランドリーパイプに10kg以上のものを掛けないでください。パイプが外れるおそれがあります。

#### 注意

- タオル掛け、カーテン、カーテンパー、握りバー、ランドリーパイプなどにぶらさがったり、強く引っ張ったりしないでください。転倒などにより、けがをするおそれがあります。

### 鏡について

- 鏡に物をぶつかけたり、たたいたりしないでください。鏡が割れるおそれがあります。
- 浴室内の湯気によりくもる場合は、石けん水をきんだタオルで鏡の表面をふいてご使用ください。

#### 注意

- 鏡に物をぶつかけたり、たたいたりしないでください。鏡が割れるおそれがあります。
- 浴室内の湯気によりくもる場合は、石けん水をきんだタオルで鏡の表面をふいてご使用ください。

#### ドアガラリ、ドアロックに直接水をかけない

- ドアロックに水をかけたりしますとサビの原因となり、ロックの開閉がきかなくなる場合がありますのでご注意ください。
- ドアロックや引手にお子様がぶらさがらないようご注意ください。

#### ドアの取り外し方 (低床タイプのみ)

##### 折戸

- ロック付きの場合、解錠します。
- 脱衣室側から凹んだ部分のつまみ(2ヶ所)を下げながらドア上部をバスルーム側に倒してください。その際ドア上部は片方ずつ外してください。

##### 開き戸

- チャイルドロックを解錠します。
- ドアロックのレバーハンドルを持ちながらドア吊り元上部のつまみをゆっくり下してください。
- つまみを下げたままドア上部をバスルーム内側に少し倒し、ドアのヒョットをドア枠の穴から取り外してください。
- 両手でしっかりとドアを持ち、脱衣室側に取り外してください。その際、アームストッパーは持ち上げてください。

#### ドアの取り付け方

- 折戸・開き戸ともに、取り付け方は逆の手順で行ってください。

### 浴槽と風呂フタについて

#### 浴槽

- 浴槽に無理な力をかけないでください。ヒビが入って、水が漏れたり、けがをするおそれがあります。

- 浴槽の上に立たないでください。足をすべらせたり、浴槽が傾いてこぼれ、けがをするおそれがあります。

- 入浴前に湯温を確認してください。やけどをするおそれがあります。

- 浴槽は定期的に掃除してください。底面についているマイクロストッパーは、汚れがたまるすとすべりやすくなり、けがをするおそれがあります。

#### 風呂フタ

- 浴槽にお湯を入れて放置する場合は、必ず浴槽にフタをしておいてください。

#### 警告

- 風呂フタに乗ったり、体重をかけたたりしないでください。おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。

#### 注意

- 風呂フタの上に手をついたり、物を置かないでください。変形や割れなど、風呂フタが破損や凹みたりします。

- 風呂フタは必ず浴槽にあったものを使用してください。風呂フタが外れたりして、けがややけどをするおそれがあります。風呂フタをご購入の際は、お買い上げの販売店までご連絡ください。



# お手入れ方法

長くご愛用いただくために日頃のお手入れをしてください。

**お手入れに必要な用具**

- 乾いたやわらかい布またはスポンジ
- 毛先の柔らかいブラシ…床全体を洗う時に使います。
- 浴室用中性洗剤  
皮脂や石けんかすの付きやすいところ（浴槽、床、壁など）のお掃除に使用します。
- 浴室用クリームクレンザー（おふろのルックみがき洗い：ライオン）床や鏡にこびり付いてしまった汚れを落とすために使用します。

「おふろのルックみがき洗い」以外は使わないでください。また、他の部材には使用しないでください。

## 床のお手入れ

床は排水効果の高いパターンによって乾きやすくなっていますが、石けんかすや皮脂などの汚れがたまると乾きが遅くなります。汚れがたまり乾きが遅くなる前に、こまめなお掃除をお願いします。

**毎日**

入浴した人が都度床にシャワーをかけて、石けんかすや皮脂、シャンプー・リンス成分を流してください。

**週に1回**

浴室用中性洗剤を床全体に吹きかけ2～3分おいてから、柔らかいスポンジで床の表面全体を洗ってください。

**お願い**

- シャンプーや洗剤は床に残らないよう必ず洗い流してください。
- 床周囲に施されているコーキング部は歯ブラシでこすらないようにしてください。
- コーキング材を傷めて、十分なシール効果を発揮できないおそれがあります。

## 床及び浴槽下と浴槽まわりのお手入れ

**毎日**

- 湯あかや石けんかすは乾いてからでは落ちにくくなります。
- こ入浴後排水するときに、やわらかい布またはスポンジで床や浴槽をかるく水洗いしてください。このとき、床周囲のコーキング（目地）材はブラシでこすらないでください。
- 中性洗剤をお使いになれば、さらに美しくなります。

**週に1回**

- 浴槽排水口にたまった髪の毛等のごみを取り除いてください。また、そのごみは排水口に流さないでください。
- 浴槽下からお湯を排水するタイプは、ぬめりが発生しやすいため、ホースで放水してください。

**注意**

- 浴槽の中に洗剤や酸素系漂白剤を入れて風呂フタや風呂いす、衣類のつけ置きをしない  
浴槽が変色したり、パッキンを痛めたりする原因となります。
- 浴槽は定期的に掃除する  
底面についているマイクロストップは、汚れがたまるとすべりやすくなり、けがをなさるおそれがあります。
- 風呂フタは必ずシャワーで洗う  
浴槽でつけ置き洗いをする、風呂フタ表面から水が入りこみ、水が抜けなくなります。

## 床の排水後には軽く水溜を拭き取ってください

●床は、FRP（繊維強化プラスチック）できているため、従来のタイルに比べ排水後、水溜が残ることがありますので、軽く水溜を拭き取ることをご推奨いたします。

## 洗場床の周囲、排水口廻り、浴槽下のお手入れの際注意していただきたいこと

- お手入れは、やわらかい布またはスポンジで中性洗剤の使用をご推奨いたします。
- お手入れするときは、硬質タワシやクレンザー、みがき粉等は使用しないでください。床面の割れ、はがれの原因になります。
- 重物をひきずったり、衝撃を与えないようにしてください。割れ、傷の原因になります。

**排水フタはこまめにお手入れ**

- 排水フタは湯あかや石けんかすの特にたまる所ですので、水洗いや中性洗剤で、こまめに洗い落としてください。
- 排水フタは、模様面が表面です。

**お願い**

- 排水フタを裏返しにして床の上に置かないでください。
- 排水フタの表面を傷めるおそれがあります。

## 目皿の外し方(FJBの場合)

- 目皿の立ち上がり部分を浴槽側に少し押しします。
- 洗場側の持ち上がった部分を持って取り外します。

## 注意

- 固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり近づけたりしない  
金属やゴムが腐食・劣化して水漏れの原因になります。
- かび取り剤（漂白剤）  
塩素系のかび取り剤は、頻繁に使わず必要なときだけにしてください。また、必ず製品の注意事項を読み正しくご使用ください。特にパッキン、目地、コーキング材などバスルームの樹脂部分に長時間付着させないようにしてください。なお、メッキ部分や金属部へは使用しないでください。さびてしまうことがあります。

**使ってはいけないお掃除道具**

- ナイロン・スチールたわし
- たわし
- 高機能スポンジ（メラミンフォーム製スポンジ）
- 研磨剤入りスポンジ

**使ってはいけない洗剤**

次の洗剤・薬品は部品を傷めてしまうので使わないでください。

- みがき粉などの粒子の粗い洗剤
- シンナー
- 酸性・アルカリ性の洗剤
- ベンジン
- 漂白剤
- 激泡タイプのアルカリ性洗剤
- 重曹
- クエン酸
- セスキ炭酸ソーダ
- 酸素系漂白剤

## ドアのお手入れ（各タイプ共通）

●ドア（障子または框）

**毎日** 最後に入浴した人がドアにシャワーをかけて、身体を洗ったときに飛び散った石けんかすや皮脂を流してください。

**週に1回** バスルーム側は柔らかい布またはスポンジに浴室用中性洗剤を付けて、ドアの面材に付いた汚れを洗い流してください。脱衣室側は浴室用中性洗剤をつけた柔らかい布でほこりなどを流してください。

**お願い**

- ドアのロックにシャワーをかけないでください。ロックの故障原因になるおそれがあります。
- ドアパッキンのお手入れにタワシや歯ブラシ、かび取り剤などの洗剤は使用しないでください。表面を傷めるおそれがあります。

**ご使用で不具合を感じた場合**

こんなときはすぐに使用をやめて修理をご依頼ください。

- ドアがスムーズに開閉できない。
- ドアのレバーがガタつく。
- ハンドルのメッキがはがれた。

## ドアパッキン

**週に1回** ドアの障子またはドア枠についているパッキンは、洗い場の排水が脱衣室側へ流れないようにするための重要なパーツです。浴室用中性洗剤を付けた柔らかい布で汚れをふき取ってください。パッキンは柔らかい部品ですので、傷めないよう汚れをやさしくふき取ってください。

**お願い**

- ドアパッキンのお手入れにタワシや歯ブラシは使用しないでください。表面を傷めるおそれがあります。

**注意**

- ドアのパッキンが切れたり外れたまま使わない  
水漏れのおそれがあります。

## ドア（開閉具合の調整）

●扉戸：ガラリあり  
ドアが完全に閉まらず自然に開いてしまったり、閉まりにくいときは、ドアのラッチ（掛け金）とドア枠のストライクボックス（掛け金を受けるへこみ）の位置を調整してください。

**ラッチ調整の仕方**

- 閉まりやすい  
ストライクプレートがラッチがストライクボックスに入っている。
- 閉まりにくい  
ストライクプレートがラッチがストライクボックスに入っていない。

ゆるめ過ぎでプレートが外れないよう気をつけてください。

●開き戸（ガラリなし）  
ドアが完全に閉まらず自然に開いてしまったり、閉まりにくいときは、ドアのラッチ（ボール状の張り出し）とドア枠のラッチ受けの位置を調整してください。

## 収納棚のお手入れ

**毎日**  
ボトルの液だれや小物の水分などを、棚と小物の両方ともふき取ってください。

**週に1回**  
収納している小物を取り出し、棚板を取り外して、浴室用中性洗剤を塗ませた柔らかいスポンジで棚板を洗ってください。洗ったあとは洗剤を十分流して、棚板を取り付けてください。

**お願い**

- クレンジングオイルなどの洗剤類や整髪料、バスオイルなどの入浴剤や洗剤を置く場合、液だれがないよう洗い流して置いてください。また棚の表面に液体が付いたときは、洗い流して残らないようにしてください。液に含まれる成分が、棚を傷めるおそれがあります。

**棚板の外し方**

- ワイドシェルフ棚を両手で持ち、引き上げて外してください。
- コーナーシェルフ棚板を手前に引きだしてください。
- ワイヤーラックを引き上げて外してください。

## 照明のお手入れ

**注意**

- 電球は必ず器具に表示してある種類、ワット（W）数の適合ランプを使用する。異なる種類、ワット（W）数のランプを使用しますと、過熱によりやけどや器具が変形、変色したり火災の原因となります。また、器具が変形すると防湿性能が失われ、漏電の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。
- 設置して8～10年経過した照明器具は、お買い上げの販売店などに点検・交換をご相談ください。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 照明器具のお掃除に洗剤は使用しないでください。変質、変色、変形のおそれがあります。

## カバーのお手入れ

半年に1度、壁付照明のグローブのお手入れをお願いします。電源（スイッチ）を切って、器具の温度が下がってからグローブをはずしてください。汚れはぬるま湯に浸した柔らかい布でふき取ってください。グローブの水気を取り除いたあと、照明の台座に取り付けてください。

●壁付照明のグローブと電球の外し方

取付の際は、ゴムパッキンを忘れずに入れてください。しめすぎ・ゆるめすぎのないよう気を付けてください。方向のあるグローブの場合は、水平になるように取り付けてください。

## 電球の交換

壁付照明では以下の電球のいずれかが使用されています。電球の交換が必要になったときはそれぞれの照明で指定している電球に交換してください。

電球の種類や品番は照明本体に表示されています。指定された品番の電球を見つける事ができない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。イラストと違う形状の壁付照明が取り付いている場合がありますが、その際も電球は照明本体の表示に適合するものをお使いください。

筒形	60W形 白熱球 (E26口金)	110mm 前後
モチ形	60W形 電球形LEDランプ (E26口金)	112mm
リフレクト	60W形 ミニクリプトン電球 (E17口金)	67mm

※寸法は仕様変更で変わる場合があります

## 電球形LEDの使用についての注意

- ①密閉型や防湿、防雨の器具に対応したものを。
- ②ワット数、口金サイズに適合しているものを。
- ③交換前の電球より極端に大きなものは避ける。（めやすとして+10mm以内）
- ④光は全方向型であること。（電球形LEDランプの場合）

LED素子にはバラストがあるため、同じ形式のランプでも光の色、明るさが異なることがあります。

## ダウンライト

本品はLEDを光源としていますが、ランプは内蔵で交換が必要になった場合は本体ごと入れ替えるタイプです。一般的な白熱球とは違う特性がありますので、以下の内容をご理解の上でお手入れをお願いします。掃除は外側のカバーだけになります。

**カバーのお手入れ**

半年に1度、電源（スイッチ）を切って、器具の温度が下がってからカバーについたホコリや汚れをぬるま湯に浸した柔らかい布でふき取ってください。

ダウンライト

## 水栓金具・器具類等のお手入れ

浴室用中性洗剤をぬるま湯で薄めて、柔らかい布で汚れをふき取りその後、乾いた布で仕上げてください。

**お願い**

- クレンザー（みがき粉）などの粒子の粗い洗剤やスチール、ナイロンタワシは使用しないでください。器具の表面を傷付けます。
- 酸性洗剤、塩素系漂白剤、鹼性洗剤、シンナー、ベンジンなどは、器具の樹脂部分（ハンドル、シャワーヘッド、パッキンなど）を傷めますので使用しないでください。

**お願い**

- 天井の点検口は配線・ダクト・換気扇の点検、洗場点検口は配管の点検などに使用します。
- 点検の際には注意していただきたいこと
- 点検の際は、付属品の上や天井の上ののり、天井にぶらさがったりしないでください。
- 脚立をご使用の際は、床面を保護して作業は安定な姿勢で行ってください。
- 点検後は点検口をもと通りに正しく
- 点検が終わった後は、点検口をもとの位置に正しく取付けてください。
- 洗場点検口は防水上重要な場所であり、点検後は周囲のスキ間がないようにしっかりと締めてください。
- 清掃の際には注意していただきたいこと
- 点検口が落下するおそれがありますので、清掃の際には点検口を押さけないでください。
- 点検口フタ固定具がある仕様は、点検口フタ固定具を回転しないようご注意ください。回転した場合は、点検口フタ固定具を点検口側に付けてください。（機種により仕様が異なります。）

## 「あれ？」と思ったら

現象	原因	処置方法
鏡表面の汚れが取れない。	水滴が乾いて、こびりついたためです。	クリームクレンザーにて、お手入れしてください。
排水が悪い。	ごみが溜まっていませんか。既設品の取扱説明書をご確認ください。	トラップのごみを取り除き、捨ててください。（排水口の中には捨てないでください。）
洗髪時の泡が残る。	泡の量が多いと、水といっしょに流れないためです。	シャワーをずけて流してください。
照明が点灯しない。	球切れではありませんか。	スイッチおよびプレーカーを切って、新品の電球（60W以下）に交換してください。
天井に水滴がたまる。	湯気やミストなどが天井に付き、成長してできたものです。	入浴後は換気扇を回したり、窓をあけるなどして、浴室内を乾燥させてください。残り湯がある場合は、必ず風呂フタをしてください。
入浴中寒く感じる。	換気扇を運転しながら入浴していませんか。	入浴中は換気扇の運転を止めてください。
浴槽やカウンターに水が残る。	どちらもぬぐってつけていますが、水には表面張力があります。	入浴後は水気をふき取ってください。
水栓金具のハンドルを回すと、カンまたブーンという音がする。	配管が振動する音です。	水栓金具のハンドルは、ゆっくり回してください。
水栓から水が漏れる。	パッキンが劣化していることがあります。	入浴後は換気扇を回したり、窓をあけるなどして、浴室内を乾燥させてください。かびは一度生えたと、カビ取り剤や漂白剤ではきれいに取除くことはできません。取替える場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
水栓の吐水量が少なく、温度調節が悪くなった。	水栓のストレーナーに、ごみが詰まっていることがあります。	水栓のストレーナーを掃除してください。掃除方法については器具の取扱説明書をごらんください。
換気扇を運転しながら入浴すると、換気扇より水が落ちてくる。	冬期などは特に湿気が多く、換気扇（グリル部）に当たり、水滴となって落下しますが、異常はありません。	故障などではありません。入浴後もしばらくの間、換気扇を運転させてください。
開閉時に音がする。	水密性を保つためのパッキンと障子がずれて音が発生する場合があります。	異常ではありません。そのままご使用ください。
開閉時に風切り音がする。	気密性が高いので、換気設備の性能によっては、風切り音が発生する場合があります。	異常ではありません。ドアをゆっくり開閉してください。

## アフターサービスについて

**アフターサービスを依頼する前に**

- 商品に不具合を感じたときは「あれ？」と思ったら、見てもう一度確認してください。それでも不具合が直らない場合は、お買い上げの販売店または、ハウステックサービス網一覧表の窓口に相談してください。

**アフターサービスを依頼するとき**

次のことをお知らせください。

- [1] 商品の「型式」
- [2] 不具合の状態（できるだけ詳しく）
- [3] 住所・氏名・電話番号

商品の「型式」はドア上側に貼り付けられています。

**保証と保証期間について**

- この取扱説明書には保証書（別紙）が付いています。記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書に明記してあります。
- 保証期間中でも有償になることがありますので、保証書の記載内容をご確認ください。
- アクアソフ水栓セットは、システムバスルームと補償内容が異なります。詳しくは、アクアソフ水栓セットの保証書をご確認ください。

**交換の目安は、パッキンや目地材など消耗品のご使用開始から3～5年、水栓本体やドア、換気扇、照明器具など消耗品は5～10年です。ただし、お客様の使用状況により大きく異なります。また、保証期間ではありません。**

●水栓本体 ●シャワーホース ●目地・コーキング ●パッキン類 ●照明器具の電球 ●照明器具 ●交換の目安は、パッキンや目地材など消耗品のご使用開始から3～5年、水栓本体やドア、換気扇、照明器具など消耗品は5～10年です。ただし、お客様の使用状況により大きく異なります。また、保証期間ではありません。

## お客様ご相談窓口のご案内

●商品のお問い合わせ・修理のご依頼は、電話遅延時には繋がりにいため、弊社ホームページ [www.housetec.co.jp](http://www.housetec.co.jp) お客様サポートの「よくあるご質問」[商品のお問い合わせ]「修理のご依頼」のWeb画面からのご利用をおすすめいたします。

●補修部品のご購入は弊社ホームページでご案内のショップをご利用下さい。メールでのお問い合わせも受付しております。

お電話でのお問い合わせは下記にて承っています。

商品のお問い合わせ（お客様相談窓口）	修理のご用命は	補修部品のご購入は（代引販売窓口）
<b>0120-801-761</b> <small>※携帯電話の通話料0570-001-761（有料）</small> 販売・施工など業者様	<b>0120-102-471</b> <small>※携帯電話の通話料0570-002-471（有料）</small> 販売・施工など業者様	<b>0120-455-621</b> <small>※携帯電話の通話料0570-002-621（有料）</small> 販売・施工など業者様
<b>0570-071-761</b> （有料） <small>●受付時間 平日9:00～17:30(12:00～13:00を除く) 土・日・祝日と年末年始・夏休みなど弊社の休日は休業させていただきます。</small>	<b>0570-022-471</b> （有料） <small>●受付時間 365日 24時間 (修理受付は日中、地域により異なります)</small>	<b>0570-022-350</b> （有料） <small>●受付時間 平日9:00～17:30(12:00～13:00を除く) 土・日・祝日と年末年始・夏休みなど弊社の休日は休業させていただきます。</small>